

# 新しい地域交通で

**【仮称「ボランティアタクシー」】 自宅前から目的地、目的地から自宅前の移動で使えます！事前登録と利用日の予約が必要です。**

— 今後は必要な改善を図りながら来年10月からの本格運行へ向けて歩みを進めることとしています。また、この事業の愛称の募集も行う予定です。その際は皆さんのアイデアをお願いします。

山北地域における新しい移動手段として始まったボランティアタクシー。ドライバーとして専門講習を受講し登録した人が、地域の人を乗せて自宅前から目的地まで送り届けてくれます。路線バスよりは少し高い料金設定ですが、自宅前で乗り降りできるという点で、利用者からの反響も上々です。バス停までの移動が大変、バス路線以外の集落の方は、普段使いの公共交通として、ぜひ利用してみてください。

(仮称) ボランティアタクシー  
始まりました



出発式における移送車両の出発の様子

**一般のタクシーとは利用方法が違います。**

**利用前に①～③が必要です。**

- ① 事前登録 (氏名、住所、連絡先など)
  - ② チケット購入
  - ③ 利用予約 (利用前日 16 時まで)
- ボランティアタクシーご利用時には現金ではなく、チケットでのお支払いとなります。

**バス路線外の集落内への発着の場合、料金がお得です。**

通常 1 回の利用は 600 円です。バス路線外の自宅前から目的地、バス路線外の目的地から自宅前など、発着地のどちらかがバス路線外の集落であれば、半額で利用できます。

## ボランティアタクシー

使ってみると便利です



**一般のタクシーと違い、相乗りになることもあります。**

2人以上での利用の場合、次のチケット購入時に使える **50 円割引券**がもらえます。つまり、知らない人との相乗りだけでなく、お友達と一緒に利用する場合も割引券がもらえます！

**こんな使い方もできるんです。**

ボランティアタクシーで府屋地内の医療機関へ (料金は 600 円か 300 円)。その後、路線バスを使って勝木地内でお買い物 (料金は 100 円)。買物終わりにボランティアタクシーで自宅へ (料金は 600 円か 300 円)。※ボランティアタクシーは帰りの時間を見越して事前予約が必要です。

(仮称) ボランティアタクシーについての詳細は、9月1日に各世帯に配布しているパンフレット「公共交通が変わります」の6ページと7ページをご覧ください

# さんぽく子ども通信

まちづくり協議会では子どもたちの地域を学ぶ取り組みに支援をしています。  
支援を受けて取り組む事業の様子や学校行事の様子などを紹介します。

## 山北中学校生徒が小学生と一緒に活動 朝から元気に「あいさつ運動」

10月3日と5日の2日間、さんぽく小学校と山北中学校で「あいさつ運動」を実施しました。小学校へは、中学校生徒会が登校時間に出向き、児童・生徒・職員、山北地区学校運営協議会、山北地区青少年健全育成市民会議の皆様と一緒に元気な挨拶を交わしました。参加した生徒からは、「笑顔をこころがけた」「小学生が明るく挨拶を返してくれて嬉しかった」などの感想が聞かれました。

この取組は、5月に「あいさつ標語」を見学・生徒全員から募集することから始まり、決定した標語を山北地区まちづくり協議会様よりのぼり旗にいただきました。それに併せて、中学校生徒会では、よりよい挨拶についてのアンケートを実施しました。「元気、大きな声」「明るく」「笑顔」「爽やか」「相手の目を見て」などの意見が出されました。

この運動を通して、心を通え合う挨拶を大切にしてほしいと考えます。



原稿：村田教頭

## さんぽく小学校では授業で山北を体験 3年生「山菜取り」、6年生「山北PR」

3年生は、大毎の加藤様にお世話になり、山菜（みず）取り体験をしました。自然豊かな山北では多くの山菜の恵みを受けられることができることを、実感を持って学びました。しかし、「取り過ぎ」はいけないうことを教えていただき、自然保護が今後の課題だと学びを深めました。

6年生は、山北支所産業建設課・産業観光室の佐藤様にお世話になり、山北の魅力を観光客に伝えるためにどんな方法が良いか学んでいます。（11月24日に観光列車「海里」の乗客に山北の魅力アピール）昨年度の6年生（現・中1）から同様にリーフレットを受け取っていただいた千葉県成田市の飯田様（左下段写真左の方）が11月6日に山北を訪問されました。「いつか行ってみたい」とメッセージをいただいておりますが、それが実現しました。



原稿：嵐教頭

## 小学生作品紹介

文化祭に向けて製作した作品の一部です。皆さんにご紹介します！



さんぽく小学校 5年 河面 崇斗さんの作品

【作者コメント】  
タイヤをうまく表現できるようにしました。登山している人の様子が伝わるようにしました。

【作者コメント】  
木の幹の根元を本物のように太く描くことに気を付けました。色も丁寧に塗りました。



さんぽく小学校 4年 富樫 彩依さんの作品